

岩手産業保健総合支援センター

立冬も過ぎ、クリスマスの文字が目につくようになり、年賀状作成に頭を痛める時期になりました。冒頭にも書きましたが、この時期は、寒さ、凍結、積雪、乾燥といった冬特有の気候状況等から思わぬ事故にあったり、病気に罹患することがあります。

そのような時期を迎え、岩手労働災害防止団体連絡協議会では12月1日から1月31日まで「いわて年末年始無災害運動」を実施します。(準備期間：平成27年11月1日～平成27年11月30日)

年末年始の繁忙期であり、冬季特有の積雪、凍結による転倒、交通事故といった災害の発生リスクが高くなることから、労働災害防止に向けて取り組むものです。

岩手労働局によると、本年は昨年比9%ほど労働災害が減少しているということです。震災の影響があるとは言え、県内の労働災害は平成22年から5年連続して増加しており、過去に例がない異常事態とのことです。

このまま、労働災害の減少傾向が継続することを祈るばかりです。

労働局の労働災害統計は、1月1日から12月31日までに発生した休業4日以上労働災害を集計しています。運動期間中である1月に発生した労働災害は、平成28年の労働災害統計に反映することとなります。また、1・2月に労働災害が増加した場合は、結果として12月末に減少させることはなかなかできないようです。理由としては冬季要因による災害件数の全体に占める割合1割から2割と多く、全体に与える影響が大きいいためとのことです。

この2か月間は、来年の労働災害の件数を左右する重要な時期であることを感じます。

1年の計は元旦にあり、ではありませんが「1年無災害は1月にあり」といったところでしょうか。

季節要因は、その年の気温、積雪量に影響されますが、温かくても、寒くても冬には変わりありませんので、早めの準備は必要かと思えます。

もう、スタットレスタイヤの準備はお済みでしょうか。

—和—

【訂正】先月号で、2月10日の「衛生管理者等研修」を「産業看護職等研修」と誤記載しております。お詫びして、訂正いたします。